

電力料金削減サポート

# Ribbon Power



オフィスビル



工場

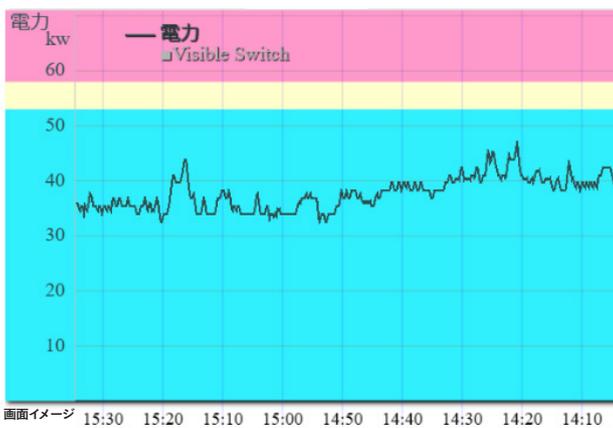


その他現場



画面イメージ

## リアルタイムで電力を可視化



画面イメージ

Ribbon.Power は医療・介護現場で活躍する「Ribbon」を電力監視に最適化。直近 10 分の平均電力値を可視化し、契約電力値 (デマンド値) 超過の監視を簡単に実現できます。

電力料金が  
上がりそうなときは  
メールでお知らせ



適切な節電で  
電力料金の上昇を防ぐ  
ことにつながります



Ribbon Power



## コミュニティ全体の 節電意識を高める

アプリ不要で手軽に電力を確認できるため  
誰でも簡単に電力削減に貢献できます。

## 工事不要！簡単に設置できます

配電盤のパルス出力\*に接続し USB 電源に接続するだけ。  
小型のため、移設もとっても簡単です。

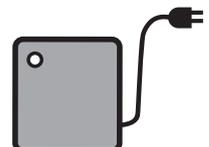
\*パルス線からの読み取りも可能。三相三線までの CT 読み取りも可能です。



センサ本体  
サイズ：12.5cm x 12.5cm x 2.5cm  
重量：約 220g



電源に繋ぐだけ！  
らくらく設置



※本サービスは電力量・料金の削減を保障するものではありません。※開発中のものにつき、実際の仕様とは異なる場合があります。

# ユーザーインタビュー



## 日本ボイラ協会 会長 刑部 真弘 先生

日本原子力研究所研究員、東京海洋大学副学長、同校大学院教授（現在は名誉教授）を経て、現在は日本ボイラ協会の会長を兼務しています。

### Q. Ribbon.Power 導入のきっかけはなんですか。

Ribbon (センサによる医療・訪問介護用見守りシステム) で実現している「電力の見える化」という取り組み自体は、もともと東京海洋大学在職中の私の研究テーマでした。それをより手軽に多くの場面で導入できる形にするために、株式会社企画さんとの協業があり、今に至っています。

Ribbon.Powerを実際に利用することで、曖昧な認識になってしまっていた電力使用状況を把握したいと考えたことと、施設全体の節電による光熱費削減を目指そうとしたことが導入のきっかけです。

### Q. Ribbon.Power の導入によってどのようなメリットがありましたか。

「電力の見える化」によって節電行動の指標ができたというメリットがありました。

たとえば、夏のエアコンの設定温度は1度上げるだけで大きな節電効果が得られること、一方で、協会ビルで実施していた昼休みの消灯 (LED照明の消灯) にはあまり効果がないことが分かったり…。

何にどのくらい電力を使っているかが簡単に把握できるようになり、それぞれが節電のコツを掴むことができました。決して無理な節電をしなくても、リアルタイムで表示される電力グラフを見ることで節電の心がけにつながるようになったと考えています。

また、電気機器の日々の電力動向をモニターすることで故障の予兆を捉えることもできました (故障する数日前から電気使用量の不自然な変動があったのです)。修理や購入の手配をしておくなどの備えに役立つことも期待できますね。

### Q. 今後 Ribbon Power に期待することは何でしょうか。

もっと多くの事業所や施設での導入が広がっていくことで、環境問題に貢献していくことを期待しています。メンバー各位の無理のない節電行動の積み重ねが、コミュニティ全体の大きな成果に繋がると信じています。

Ribbon.Powerの「リアルタイム電力見える化」によって電力使用量・料金を見直す機会が得られますが、このシステムを通してエネルギー問題や地球温暖化について多くの方に意識していただける、いわば啓発のきっかけとしても大変導入意義があると感じます。